

コーポレート・
ガバナンス

会長メッセージ

すべてのステークホルダーに
信頼・支持される会社であるために

代表取締役会長
むらた つねお
村田 恒夫

本年6月の株主総会および取締役会を経て、社長交代を行いました。これからは会社の運営は代表取締役社長となった中島規巨が中心となって指揮を執り、私は代表取締役会長という立場で監督・助言をしていくことになります。

昨今さらに高まる社会的責任を果たしていくために、ガバナンスの強化がより重要となります。また今後、会社の事業環境の変化に対応できるガバナンスの構築が必要となっていきます。それらを実現するために、会長職に専念して俯瞰的に経営に関わり、執行の監視、監督などの義務を果たし、特にガバナンスの観点から会社の運営を正しい方向に導いていくことが私に課せられた使命であると考えています。

村田製作所は2016年に会社のガバナンス形態を監査等委員会へ移行し、個別の業務執行の権限委譲を進め、取締役会では会社の経営方針・事業戦略の議論やモニタリングにより多く注力できるよう変えてきました。

その中で、外部からの視点の確保という点も強化し、さらなる経営の透明性の向上にも努めてきました。

当社には、これまで外部からの視点を取り入れることも重要と考え、1971年と比較的早い段階から社外役員を選任し、ご意見・ご指摘を取り入れてきた歴史があります。監査等委員会に移行した2016年には取締役会の社外取締役比率は3分の1を超えましたが、数字だけではなく、いかに実効的な議論ができるかに

重きを置いてきました。私も取締役会の議長として、議場では社内・社外問わず自由に意見表明ができる雰囲気を作り出すように心掛けており、実際に自由闊達で建設的な議論や意見交換がなされていると感じています。常々社外取締役の方々からは貴重なご意見や中長期を見据えた具体的なアドバイスをいただき、時には厳しいご指摘をいただき、会社の経営方針や事業戦略の遂行にも反映することができています。また多様化という視点のもと、さまざまなバックグラウンドと専門的知識を持つ方々に社外取締役となっていただくことで、より多面的な観点から経営方針や事業戦略の検討が可能となりました。

今後は、多様なバックグラウンドと専門的知識を持つ社外取締役の方々の知見を引き出し、取り入れながら、経営方針・事業戦略に対するモニタリング機能をさらに充実させ、取締役会の実効性を高めるための取り組みを進めて、中島新社長の目指す自律分散型の組織づくりと経営の透明性向上という2つのテーマをしっかりとサポートしていきたいと思えます。

当社の社是を実践しながら会社が健全に発展・成長を続けるため、ガバナンスは最重要の経営課題の一つであると考えています。真摯に課題に向き合い、取り組みながら、今後もガバナンスの強化を通じて、すべてのステークホルダーの皆様信頼され、支持される会社であり続けるため、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。